

# 平成30年度決算にかかる主要な施策の 成果報告書並びに基金運用状況報告書

会 津 若 松 市

# 目 次

1	平成30年度主要な施策の成果報告書	1
	(1) 総括	3
	(2) 市税徴収実績	4
	(3) 一般会計	7
	第2款 総務費	8
	第3款 民生費	20
	第4款 衛生費	27
	第6款 農林水産業費	28
	第7款 商工費	33
	第8款 土木費	47
	第9款 消防費	50
	第10款 教育費	51
	(4) 「地方創生」粋事業	59
	(5) 特別会計	79
	会津若松市国民健康保険特別会計	80
	会津若松市湊町簡易水道事業特別会計	82
	会津若松市西田面簡易水道事業特別会計	83
	会津若松市観光施設事業特別会計	84
	会津若松市下水道事業特別会計	86
	会津若松市地方卸売市場事業特別会計	87
	会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計	88
	会津若松市農業集落排水事業特別会計	89
	会津若松市介護保険特別会計	90
	会津若松市個別生活排水事業特別会計	92
	会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計	93
	会津若松市後期高齢者医療特別会計	94
2	平成30年度基金運用状況報告書	95
	(1) 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金	96

# 平成30年度 主要な施策の成果報告書

平成30年度決算における主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の規定により提出する。

令和元年9月12日

会津若松市長

室井照平

# 総括

平成30年度の一般会計歳入歳出予算額は、当初48,625,000,000円でありました。

その後、4回の補正予算額2,865,978,000円を加え、さらに、平成29年度繰越明許費繰越額850,136,632円、事故繰越し繰越額140,259,600円を加えた結果、最終予算額は52,481,374,232円となりました。

これに対して決算額は、歳入51,588,388,765円、歳出49,429,143,273円で、差し引き2,159,245,492円の剰余金が生じたものです。

# 歳入

予算現額52,481,374,232円に対し、決算額は51,588,388,765円で、予算現額と比較し、892,985,467円、1.7%の減収となりました。

その主な内訳は、市税(354,417,441円)、地方交付税(568,658,000円)などの増収と、国庫支出金(△779,619,689円)、県支出金(△240,443,394円)、市債(△888,400,000円)などの減収によるものです。

なお、減収分のうち、国庫支出金682,954,680円、県支出金78,400,000円、市債718,400,000円は、翌年度へ繰り越した事業の財源であり、令和元年度に事業が完了することにより収入されるものです。

# 歳出

予算現額52,481,374,232円に対し、決算額は49,429,143,273円で、執行率は94.2%(前年度95.3%)となり、繰越明許費繰越額1,608,398,557円を除いた不用額は1,443,832,402円となりました。

主な不用額は、民生費630,981,376円、土木費166,881,566円、教育費134,938,004円で、効率的な執行に努めたところです。

以上、これらの予算執行を通して得られた本年度の行政施策の主な成果の概要は、次のとおりです。

# 市 税 徴

税 目 \ 区 分	前年度決算額 (A)	予 算 現 額	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)
	千円	千円	千円	千円
I 普通税	15,256,168	14,752,409	15,553,719	15,107,027
1 現年度分	15,151,717	14,649,809	15,126,067	14,994,001
(1) 市 民 税	6,518,368	6,311,211	6,516,783	6,465,727
(2) 固 定 資 産 税	7,389,991	7,172,979	7,359,945	7,281,959
(3) 軽 自 動 車 税	301,307	306,946	314,759	311,735
(4) 市 た ば こ 税	942,051	858,673	934,580	934,580
2 滞納繰越分	104,451	102,600	427,652	113,026
(1) 市 民 税	52,102	47,800	130,582	50,319
(2) 固 定 資 産 税	49,973	53,000	288,621	60,628
(3) 軽 自 動 車 税	2,376	1,800	8,449	2,079
II 目的税	107,521	109,591	109,533	109,390
(1) 入 湯 税	107,521	109,591	109,533	109,390
現年度分	107,277	109,590	109,091	108,948
滞納繰越分	244	1	442	442
合 計	15,363,689	14,862,000	15,663,252	15,216,417

# 収 実 績

(C)の 構成比	対前年度比 (C)／(A)	未 収 入 額 (B)－(C)	調定額(B)に対する収入済額(C)の割合(徴収率)				
			30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
%	%	千円	%	%	%	%	%
99.3	99.0	446,692	97.1	97.1	97.2	97.1	96.9
98.5	99.0	132,066	99.1	99.1	99.1	99.2	99.1
42.5	99.2	51,056	99.2	99.2	99.2	99.3	99.2
47.9	98.5	77,986	98.9	99.0	99.0	99.0	98.9
2.0	103.5	3,024	99.0	99.0	98.9	99.2	99.0
6.1	99.2	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0.8	108.2	314,626	26.4	25.0	24.9	26.0	25.0
0.4	96.6	80,263	38.5	39.7	36.5	40.2	38.0
0.4	121.3	227,993	21.0	17.9	20.0	20.0	19.1
0.0	87.5	6,370	24.6	28.7	22.3	24.6	21.5
0.7	101.7	143	99.9	99.6	99.8	100.0	100.0
0.7	101.7	143	99.9	99.6	99.8	100.0	100.0
0.7	101.6	143	99.9	99.6	99.8	100.0	100.0
0.0	181.1	0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
100.0	99.0	446,835	97.1	97.2	97.2	97.1	96.9

## 主要な施策の成果（一般会計）

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ふるさと寄附金に要する経費 (総務課)	9,204				9,204

### 説 明

○ 寄附者が寄附しやすい環境づくりとして、WEB申込みフォームやクレジット納付の利用により、納付利便性の向上を図るとともに、地元産品による返礼品を寄附額に応じて取り揃え、寄附の一層の促進に努めました。

#### [主な経費]

○クレジット納付等システム利用料	205 千円
○ふるさと納税システム利用料	843 千円
○返礼品発送業務委託料	7,448 千円

#### [事業実績]

○WEB申込み利用実績	83.7%	(寄附者全体に対する利用件数の割合)
○クレジット納付利用実績	74.0%	(同上)
○返礼品発送実績	527 件	(委託による発送件数)

#### [ふるさと寄附金(個人寄附者)の受入状況]

○件数	603 件
○金額	28,494,000 円



## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
姉妹都市・親善友好都市経費（ベートーヴェン第九アジア初演100周年記念事業補助金） (総務課)	2,000				2,000
説 明					
○ 親善交流都市の徳島県鳴門市との交流促進及び地域の活性化を図るため、ベートーヴェン第九アジア初演100周年を記念して実施される事業に対し、補助を行いました。					
1 交付先 会津第九の会					
2 補助対象経費 5,015千円					
(1) 会場整備経費 4,590千円					
記念公演開催にあたり、公演会場に総勢360名の出演者が一堂に登壇できる特設山台ステージの製作に要する経費。					
(2) 顕彰にかかる経費 425千円					
松江豊寿を顕彰するリーフレット作成にかかる印刷製本費並びにエクスカーション実施に伴うジャンボタクシー借上に要する経費。					
3 補助金額 2,000千円（補助対象経費の2分の1、2,000千円を限度）					
4 事業概要					
(1) 会津第九演奏会2018（第九アジア初演100周年記念公演）の開催					
ベートーヴェン第九アジア初演100周年を記念し、「全日本第九を歌う会連合会」との連携により、全国各地から出演者が参加し演奏会が行われました。					
・日時 平成30年9月24日（月）					
・会場 會津風雅堂					
・出演者360名、観客数1,214名					
(2) 松江豊寿顕彰事業					
① 松江豊寿顕彰リーフレットの作成（30,000部）					
② 松江豊寿ゆかりの地をめぐるエクスカーションの実施					
・日時 平成30年9月25日（火）					
・会場 大塚山、飯盛山、鶴ヶ城					
・参加者74名					
③ 松江豊寿紹介パネル展の実施					
・期間 (1)平成30年4月29日～5月6日 (2)平成30年9月24日					
・会場 (1)會津稽古堂 (2)會津風雅堂					
④ 全国各地での顕彰活動					
鳴門、むつ下北、白河、ふくしま及び郡山の各第九演奏会に参加し、リーフレットを用いた顕彰活動を実施しました。					

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
未来人財育成事業費（新生日本・再生故郷 実行委員会負担金） (企画調整課)	4,400			4,400	
説 明					
<p>○ 新生日本・再生故郷実行委員会では、「新生日本・再生故郷」をテーマに、地方から日本全体の新たな社会構築への挑戦を目指し、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>野口英世博士とアフリカ諸国との深いつながりを縁とし、会津地方の高校生に駐日アフリカ各国大使館の訪問等を通して、異文化に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会への興味関心、異文化理解を深めることで、グローバルな視点を持った人材の育成を行いました。</p> <p>○参加者数 会津地方高校生 35名（うち市内高校生20名）</p> <p>(1) ワークショップ（全4回）</p> <p>① 開催期間 平成30年6月～9月</p> <p>② テーマ 「グローバル人材としての自分」を考える。</p> <p>(2) 英語カフェ（全4回）</p> <p>① 開催期間 平成30年7月～8月</p> <p>② 主な内容 ネイティブスピーカーによる英会話講習、大使館訪問や外国人インフルエンサーとの交流に向け、英語で会津を紹介するための準備や資料作成</p> <p>(3) サマーキャンプ</p> <p>① 開催期間 平成30年8月6日～7日（1泊2日）</p> <p>② 主な内容 ・駐日アフリカ各国大使館（ガーナ、ケニア、モザンビーク、カメルーン）への訪問と各国大使等との懇談、ディスカッション</p> <p>・外国人インフルエンサーとの交流会では、世界各国での活動内容等に対する意見交換や、英語で会津の食や文化の紹介を行いました。</p> <p>(4) 成果報告会</p> <p>① 開催日 平成30年10月8日</p> <p>② 主な内容 ・参加高校生による一連のプロジェクト活動成果の発表</p> <p>2. 未来人財育成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちが、社会の第一線で活躍する講師陣（技術、医療、エンターテイメント等）から、これからの社会を生きる実践的な力を学ぶとともに、同世代との集団生活や活動を通し「自立」と「自律」の心を培い、将来の自分の生き方を描けるような機会を提供することを目的に、人材育成事業を実施しました。</p> <p>① 名 称 あいづ未来人財育成塾</p> <p>② 開催期間 平成30年7月29日～8月1日（3泊4日）</p> <p>③ 参加人数 中学生 26名（うち市内中学生6名）</p> <p>④ 主な内容 ・社会の第一線で活躍する講師による講義（6講義）</p> <p>・グループワーク（講義の振り返り・将来の生き方について考えるワーク）</p> <p>・課外活動 （会津若松のPRポスターのデザイン、キャッチコピーを考える体験活動）</p> <p>・成果発表会</p>					

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民協働推進事業費（行政提案型協働モデル事業委託料） (企画調整課 協働・男女参画室)	1,528			1,329	199
説 明					
<p>○ 市民との協働による地域課題の解決と、より幅広い協働の実践につながるモデル事業を創出することを目的に、平成26年4月に策定した「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民公益活動団体との協働事業（4事業）に取り組みました。 いずれの事業も打合せを丁寧に積み重ね、相互の信頼関係を構築しつつ、試行錯誤しながら取組を進め、効果と課題を確認することができました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 安心と安全の町内会づくり事業</p> <p>住民の防災意識の向上と町内会が主体となった防災組織の体制づくりのため、近隣の商業施設等とともに災害に備える意識の醸成と防災力の向上を図る事業や、避難行動要支援者の状況把握と安否確認体制の構築を図る事業に取り組みました。 防災マップの改版や防災講座の開催、避難行動要支援者の安否確認手法の検討を通して、住民の防災意識が高まり、自主防災組織を設立する体制を整えることができました。</p> <p>(1) 実施団体 旧年貢町町内会（担当課：危機管理課） (2) 事業費 498千円 (3) 主な内容 ・防災マップの改版 ・防災講座の開催 ・避難行動要支援者の安否確認手法の検討 ・先進地視察</p> <p>2. 高齢者社会参画促進支援事業</p> <p>高齢者の持つ知識や経験をボランティアによる社会参加で活かすとともに、介護施設が抱える人手不足の軽減を図るため、高齢者を対象とした介護ボランティア養成研修を実施しました。 ボランティアとしての心得や高齢者の心身の特徴、認知症についての理解を深める座学とともに、介護施設での入所者の方々との交流を通して、介護ボランティアとしての知識やスキルを向上させることができました。</p> <p>(1) 実施団体 会津若松市民健康増進活動実行委員会（担当課：高齢福祉課） (2) 事業費 343千円 (3) 主な内容 ・座学研修の開催（全5回） ・介護施設における実地研修の実施（1回） ・介護ボランティア養成研修の成果と人材の利活用についての介護施設へのPR</p> <p>3. 次は何ができるかワクワクできる、認知症サポーターステップアップ事業</p> <p>認知症サポーターの積極的な活躍と認知症への理解の拡大を図るため、認知症サポーターステップアップ講座及び講演会を開催しました。 意識の高い認知症サポーターを対象にした講座を開催し、座学及び認知症カフェでの認知症当事者やその家族との交流を通して、認知症に関する更なる知識と対応スキルを向上させることができました。 また、終末期を住み慣れた地域で暮らすために必要な支援に関する講演会を開催し、認知症の特性や対応の仕方について市民の方々の理解を深めることができました。</p> <p>(1) 実施団体 認知症を考える会 あいづの種（担当課：高齢福祉課） (2) 事業費 357千円 (3) 主な内容 ・認知症サポーターステップアップ講座の開催（全6回） ・講演会の開催（1回）</p>					

#### 4. 濠に生息している生物及び外来種の生態系調査事業

鶴ヶ城のお濠の生態系を検証することで、市民のお濠への関心を高め、環境保全につながる契機にするため、そこに生息する生物の生態系調査を実施しました。

調査の結果、特定外来種の生息が確認できたことから、生態系の保全を図る取組が必要であることを認識することができました。

また、調査への子どもの参加や、調査結果についての小学校への出前講座を通して、市民のお濠への関心を高めることができました。

(1) 実施団体 NPO法人会津鶴ヶ城を守る会（担当課：花と緑の課）

(2) 事業費 331千円

(3) 主な内容

- ・外来種の生態系調査の実施
  - 刺し網、ルアー釣りによる生物の捕獲
  - 捕獲生物の大きさと重さの計測
  - 専門家による捕獲生物の解説
  - 調査に関する小学校への出前講座

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域公共交通活性化事業費（会津線利用強化調査業務委託料） (地域づくり課)	2,992				2,992

### 説 明

○ 会津線の利便性及び経営安定化に向け、会津田島駅～西若松駅間の非電化区間の電化整備やハイブリッド車両の導入などを含めた会津若松駅までの直通運行に係る各手法の費用と効果を検討するための調査を行いました。

#### [委託先]

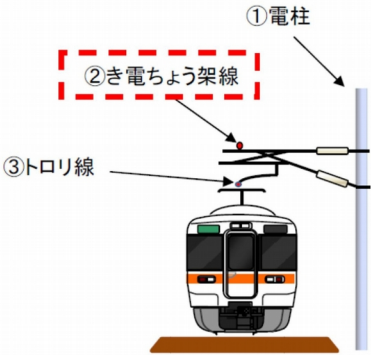

株式会社 福・まち・交通研究所

#### [調査結果の概要]

① 直通運行による効果（平成29年度の特急リバティ直通運行効果をもとに試算）

- ・増加旅客数（会津田島駅～西若松駅）  
年間12,045人増 ※1日平均33人増（+9.7%）  
※会津田島駅で降りた方全員が直通化により西若松駅まで乗車した場合で試算
- ・増加運送収入額  
21,079千円/年 ※運賃差1,750円×増加人数

② 直通運行の手法及び概算事業費

直通運行手法（事業イメージ）	費 用	
	概算事業費（初期投資額）	営業費（初年度）
1) 非電化区間を電化 ※会津田島駅乗換時間 8.5 分短縮 	計:310 億円(工期:約 5 年) 工事費 302.5 億円 ・電化工事(電柱・架線) ・電化工事(4 変電所設置) ・トンネル移築 6 か所 ・トンネル改築 2 か所 ・橋梁移築 3 か所 ・駅移築 2 駅 ・軌道改良(勾配擦り付け) 車両費 7.5 億円 ・1 編成 3 両増備 ※16 年目に再投資が必要	計:597.8 百万円/年 ・電路保存費 54.1 百万円/年 ・動力費差額 89.0 百万円/年 ・車両使用料 20.7 百万円/年 ・固定資産税増分 434.0 百万円/年
2) ハイブリッド車両を導入 ※会津田島駅乗換時間 8.5 分短縮 	車両費:36.0 億円 ・4 編成 12 両増備 (ハイブリッド車両:3 億円/両)	計:99.7 百万円 ・燃料費 1 両増分 (燃費改善分含) 49.3 百万円/年 ・固定資産税増分 50.4 百万円/年

#### [事業成果]

会津鉄道の経営安定化に向けた効果的な支援策について、県、関係自治体、鉄道事業者と協議を行っていきにあたり、本調査事業により、懸案事項の一つであった直通運行に要する概算事業費など、直通運行を行うための課題が明らかになった。

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
庁舎整備事業費 (企画調整課 庁舎整備室)	37,852			36,180	1,672
説 明					
<p>○ 「第7次総合計画」に位置づけた施策「市役所庁舎の整備」に向けて、平成29年度に策定した「本庁舎旧館保存活用計画」及び「庁舎整備行動計画」における本庁舎旧館の保存活用や周辺分庁舎の利活用の検討案を「庁舎検討懇談会」からの意見などを踏まえて絞り込むとともに、庁舎整備に関する基本的な事項を整理し、「庁舎整備基本計画」として取りまとめました。</p> <p><b>【庁舎整備基本計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な内容           <p>本庁舎旧館を部分保存、免震改修し、庁舎として活用するとともに、本庁舎新館等を除却した敷地に庁舎機能を集約した新庁舎を建設する整理を行い、庁舎の総床面積や施設配置、駐車機能といった整備にあたっての基本事項や想定する事業費、事業スケジュールなどの事業計画を取りまとめました。</p> </li> <li>・ 構成           <p>第1章 庁舎整備基本計画の位置づけ            第2章 本庁舎旧館保存活用計画及び庁舎整備行動計画の整理            第3章 整備にあたっての基本事項            第4章 整備計画            第5章 事業計画</p> </li> <li>・ 庁舎整備計画策定支援等業務委託 36,180千円           <p>庁舎整備基本計画を策定するにあたり、計画策定支援等の業務を委託しました。</p> <p>[主な業務内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本庁舎旧館保存活用計画と庁舎整備行動計画の整理</li> <li>② 「庁舎整備基本計画」の作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本庁舎敷地の測量調査</li> <li>・ 本庁舎敷地の地盤調査                    を含む</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>					

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） (北会津支所まちづくり推進課)	1,000			870	130
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民一人ひとりが地域を理解し、身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・ 地域づくり委員会会員数 58名（平成31年3月31日現在）</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>「役員会」(4回)開催</li> <li>「委員会」(6回)開催</li> <li>「北会津公共交通会議」(9回)開催</li> <li>意見交換会の開催(北会津地域連携会議との合同)</li> <li>地域づくりセミナー・活動報告会の開催(河東地域づくり委員会との合同)</li> <li>まちづくり推進ニュース(5回発行)への記事掲載による情報提供</li> <li>独自チラシ等の配布(6回)</li> <li>先進地視察研修(山形県川西町)</li> </ul> </li> <li>・ 実践事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>委員会発意による実践活動の実施(3件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「みどり(花)香るまちづくり推進事業」</li> <li>「イベントカレンダー配布事業」</li> <li>「北会津文化祭における活動報告展示」</li> </ul> </li> <li>北会津公共交通会議による地域内交通「北会津ふれあい号」の運営・利用促進(4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「利用案内チラシの配布」</li> <li>「運行開始記念事業の実施」</li> <li>「乗り方教室開催」</li> <li>「北会津文化祭における利用促進活動」</li> </ul> </li> <li>・ 地域づくり活動支援事業(住民提案型公募事業)の実施(4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「北会津で一年分の手前味噌を作ろう」</li> <li>「みんなでダレデモダンス」</li> <li>「めぐキッズふれあいファーム」</li> <li>「古に新あり 會津田想い感舞」</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>					

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津地域内交通運営支援事業費 (北会津支所まちづくり推進課)	1,965				1,965

### 説 明

- 北会津地域の公共交通空白地域等における医療機関や商業施設、広域路線バスへの乗り継ぎ拠点等までの移動手段である地域内交通への運営支援により、地域間の交流促進や日常生活の利便性の向上等に努めました。

名称	北会津地域内交通「北会津ふれあい号」
運営主体	北会津地域づくり委員会「公共交通会議」
運行事業者	会津通商株式会社（葵タクシー）
運行開始	平成30年度
運行日	平成30年4月2日～平成31年3月30日 毎週月曜日～土曜日 ※年末年始等を除く
運行実績（日数）	310日
〃（便数）	1,489便
〃（人数）	2,179人
利用区間	北会津各地区～目的地（商業施設・医療機関・公共施設等）
乗降場所	北会津地区内53箇所
目的地	11施設 地域内目的地：6施設（北会津保健センター、JA会津よつば北会津、北会津支所、北会津公民館、会津西病院、はせがわ整形外科） 地域外目的地：5施設（COOP BESTAにいでら店、アピタ会津若松店、ヨークベニマル西若松店、ヨークベニマル城西店、西若松駅東口）
運賃	地域内目的地 片道300円 地域外目的地 片道500円 ※未就学児は無料、小学生はいずれも半額
運行形態	1日6便（前日までの予約制。復路一部区間定時程路線）
使用車両	ワゴン車(10人乗りタイプ)



## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
河東地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） (河東支所まちづくり推進課)	1,000			870	130
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」への負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり委員会会員数 125人（平成31年3月31日現在）</li> </ul> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>各部会の開催（地域環境（3回）・生活福祉（3回）・防犯防災（4回）・交通環境（7回））</li> <li>意見交換会の開催（河東地域連携会議との合同）</li> <li>活動報告会の開催（北会津地域づくり委員会等との合同）</li> <li>地域づくり委員会ニュースの発行（3回）</li> </ul> </li> <li>・ 実践事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域環境部会（3件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「広田駅前環境美化運動」</li> <li>「地域飲食店等のガイドブック作成」</li> <li>「地域づくり委員会ニュース発行」</li> </ul> </li> <li>生活福祉部会（1件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域の居場所づくり（きまぐれ塾開催）」</li> </ul> </li> <li>防犯防災部会（3件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「通学路等危険箇所現地調査の実施」</li> <li>「地域安全鼓笛隊パレード開催」</li> <li>「交通安全看板の改修」</li> </ul> </li> <li>交通環境部会（4件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「河東地域内交通みなづる号の利用促進に向けた検討・協議」</li> <li>「 の広報活動」</li> <li>「 の地区説明会」</li> <li>「 の乗り方教室開催」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 地域づくり活動支援事業（住民提案型公募事業）の実施（3件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「防犯活動等の円滑化促進事業」</li> <li>「福祉ふれあい芸能発表会」</li> <li>「交通教室開催促進事業」</li> </ul> </li> </ul>					

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
河東地域内交通運営支援事業費 (河東支所まちづくり推進課)	1,053			639	414

### 説 明

- 河東地域の公共交通空白地域等における医療機関や商業施設、広域路線バスへの乗り継ぎ拠点等までの移動手段である地域内交通への運営支援により、地域間の交流促進や日常生活の利便性の向上等に努めました。

名称	河東地域内交通「みなづる号」
運営主体	河東地域づくり委員会「交通環境部会」
運行事業者	合資会社 広田タクシー
運行開始	平成30年度
運行日	平成30年4月2日～平成31年3月30日 月・水・金の週3日 ※祝日の場合も運行
運行実績 (日数)	106日
〃 (便数)	243便
〃 (人数)	353人
利用区間	待合場所～目的地 (商業施設・医療機関・公共施設等) 目的地～目的地
乗降場所	河東地区内36箇所
目的地	7施設 (広田駅、広田郵便局、河東公民館、河東支所、 リオン・ドール河東店、いなにわ医院、会津医療センター)
運賃	片道500円 (待合場所～目的地間) 片道300円 (目的地～目的地間) ※未就学児は無料、小学生はいずれも半額
運行形態	1日7便 (前日までの完全電話予約制)
使用車両	ワゴン車(10人乗りタイプ)

## 2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
市民憲章推進事業費（市民憲章制定50周年記念事業負担金） (環境生活課)	679				679												
説 明																	
○ 市民憲章のさらなる普及と啓発を図るため、会津若松市民憲章推進委員会が実施する市民憲章制定50周年記念事業に対して支援を行いました。																	
1 会津若松市民憲章制定50周年記念式典の開催																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日：平成30年10月27日（土）</li> <li>・ 市民憲章の理念実現のために貢献された方へ感謝状の贈呈を行うとともに、市民憲章運動のさらなる周知と実践を行い、次の世代によりよい会津若松市を引き継いでいくため、市民憲章推進宣言を行いました。</li> </ul>																	
2 会津若松市民憲章制定50周年記念誌の発行																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発行冊数 400冊</li> <li>・ 市民憲章の制定から現在までの実践活動等について記念誌にまとめ、配付しました。また、市のホームページへ掲載し、広く紹介しました。</li> </ul>																	
3 会津若松市民憲章制定50周年記念看板の設置																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲章文を市民等に周知し、実践されるよう、市役所第二庁舎前に憲章文の看板1基を設置しました。</li> </ul>																	
空家対策に関する経費（空家等改修支援事業補助金） (危機管理課)	1,137				1,137												
説 明																	
○ 空家の利活用を促進するため、空家を活用して、地域の活性化に資する事業を実施しようとする者や移住しようとする者を対象に、空家の改修費用の一部を補助しました。																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 15%;">申請件数</th> <th style="width: 15%;">交付件数</th> <th style="width: 30%;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空家等改修支援事業補助金</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">1,137千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">1,137千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	申請件数	交付件数	補助金額	空家等改修支援事業補助金	3	3	1,137千円	合 計	3	3	1,137千円
内 容	申請件数	交付件数	補助金額														
空家等改修支援事業補助金	3	3	1,137千円														
合 計	3	3	1,137千円														

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
障がい者総合支援給付費 (障がい者支援課・こども家庭課)	1,979,136	1,478,314			500,822

#### 説 明

○ 障がいの種類、程度にかかわらず、地域で自立した生活が送れるように、様々な福祉サービスを提供しました。

事業名	内 容	件 数	金 額
障がい福祉サービス費等	居宅介護、生活介護、施設入所支援等の介護給付費や自立訓練、就労移行支援等の訓練等給付費の支給	17,923件	1,679,894千円
計画相談支援給付費等	障がい福祉サービスの利用調整や利用計画の作成費の支給	4,795件	54,726千円
療養介護医療費	長期入院による医療的ケア及び常時介護のための療養介護医療費の支給	129件	10,790千円
高額障がい福祉サービス等給付費	障がい福祉サービス、補装具、介護保険などのサービスを併用し、一月の自己負担合計額が基準額を超えた際、申請により超過分の金額を支給	96件	731千円
補装具費	失われた身体機能を補完又は代替するための補装具費の支給	280件	23,373千円
自立支援医療費 (育成医療)	身体障がい児又は疾病により障がいが残ると認められる児童の障がいの軽減除去を図る医療費(育成医療)の支給	16件	893千円
自立支援医療費 (更生医療)	身体障がい者の障がいの軽減除去を図る医療費(更生医療)の支給	148件	157,021千円
合 計		23,387件	1,927,428千円

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域生活支援事業費 (障がい者支援課・こども家庭課)	124,815	47,452		1,768	75,595

○ 障がい者や障がい児が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、様々な事業を実施し、障がい者等の福祉の増進に努めました。

事業名	内容	件数	事業費
相談支援事業	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用等を支援	10,738回	32,604千円
成年後見制度利用支援事業	障がい者等の権利擁護のため、成年後見制度の利用を支援	15件	2,522千円
理解促進研修・啓発事業	障がい理解を深めるため、啓発紙の作成・配布や講演会を開催	2件	576千円
意思疎通支援事業	手話通訳者又は要約筆記者等を派遣し、聴覚障がい者等のコミュニケーションを支援	281回	911千円
日常生活用具費助成事業	障がい者等の日常生活の便宜を図るため、自立支援用具等の購入に要する費用の一部を助成	2,671件	28,478千円
ガイドヘルパー派遣事業	障がい者等の日常生活、社会参加等のための外出時における移動を支援	4,495時間	10,678千円
地域活動支援センター事業	障がい者等に対し、通所による創作活動や生産活動の場を提供	3,848回	9,748千円
訪問入浴サービス事業	入浴が困難な在宅の障がい者等に対し、家庭訪問により居宅での入浴を支援	562回	7,075千円
タイムケア事業	障がい者等に日中活動の場を提供し、障がい者等の家族の就労、休息の確保を支援	3,131回	10,630千円
余暇活動支援事業	障がい者等が集う拠点を設け、イベント等を通じて社会活動参加を促進	4,142人 (のべ参加者数)	4,400千円
ワークシェアリング事業	就労を目指す障がい者に、市役所の一部の業務について作業をしてもらい、社会参加及び就労意欲の向上を図り、就労に向けた訓練を実施	371人 (のべ参加者数)	960千円
地域生活支援拠点等の整備	福祉施設からの地域生活移行や親元からの自立、親亡き後の生活を見据えた支援を行うための拠点等を整備	4箇所	9,751千円
合 計			118,333千円

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源														
後期高齢者医療事業費 (国保年金課)	1,646,897	247,763		57,390	1,341,744														
説 明																			
<p>○ 後期高齢者医療制度の健全な運営に資するため、福島県後期高齢者医療広域連合に対し、事務費や市の法定負担金となる療養給付費等負担金を支出しました。 また、本市の後期高齢者医療特別会計へ事務費や保険基盤安定負担金分として繰出金を支出するとともに、健康診査を実施し後期高齢者の健康増進と医療費の適正化に努めました。</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査事業委託料</td> <td style="text-align: right;">48,429 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合市町村負担金</td> <td style="text-align: right;">65,093 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合保健事業負担金</td> <td style="text-align: right;">11,671 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療療養給付費等負担金</td> <td style="text-align: right;">1,153,840 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療特別会計繰出金</td> <td style="text-align: right;">367,864 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,646,897 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	健康診査事業委託料	48,429 千円	後期高齢者医療広域連合市町村負担金	65,093 千円	後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	11,671 千円	後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,153,840 千円	後期高齢者医療特別会計繰出金	367,864 千円	合 計	1,646,897 千円
事業名	金額																		
健康診査事業委託料	48,429 千円																		
後期高齢者医療広域連合市町村負担金	65,093 千円																		
後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	11,671 千円																		
後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,153,840 千円																		
後期高齢者医療特別会計繰出金	367,864 千円																		
合 計	1,646,897 千円																		
子ども医療費 (こども家庭課)	566,267	301,257			265,010														
説 明																			
<p>○ 子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し、子どもの保健の向上に寄与することを目的とし、子どもの医療費の一部を保護者に助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成対象者 外来・入院・調剤：0歳～18歳に到達した日以後における最初の3月31日までの者</li> <li>・ 助成対象人数                    19,229人</li> <li>・ 助成件数                         263,623件</li> <li>・ 助成額                            550,469,444円</li> </ul>																			

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ファミリー・サポート・センター事業費 (こども家庭課)	7,942	5,230			2,712

#### 説 明

○ 就労形態や就労時間などの多様化により保育施設では対応できない子育てを、一時的または補助的に手助けし、仕事と子育ての両立を支援するとともに、緊急時の対応など、子育てをする全ての家庭を支援することで、子育ての負担感や不安感の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを行うため、NPO法人ファミリー・サポート・あいづへの委託により、子育てを援助したい人（サポート会員）と子育ての援助を受けたい人（お願い会員）をマッチングするファミリー・サポート・センター事業を実施しました。  
また、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、以下のいずれかの要件に該当する世帯を対象に利用料の一部を助成しました。

(ひとり親家庭等支援対象世帯)

- ・生活保護受給世帯
- ・住民税非課税世帯
- ・児童扶養手当受給世帯
- ・ダブルケア世帯

#### 【活動実績】

・サポート活動総件数

内 容	件数
基本事業	2,933
病児・病後児緊急対応強化事業	4
合 計	2,937

・うち、ひとり親家庭等支援件数

内 容	件数
サポート料金の一部を援助	346
早朝、夜間、宿泊、休日受け入れ等に柔軟に対応	523
合 計	869

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども未来基金事業費 (こども家庭課)	1,724			1,661	63
説 明					
<p>○ 地域における子どもと子育てへの支援の充実及び拡大を図るため、「子ども未来基金」を活用して、子ども・子育て支援に寄与する活動を自主的に実施する団体へ助成金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成対象事業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの健やかな成長を支える活動</li> <li>(2) 支援を要する子ども及びその家庭を支える活動</li> <li>(3) 親の子育て力の発揮を支える活動</li> <li>(4) 地域の子育て力の向上に資する活動</li> <li>(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が子どもと子育ての支援の充実に寄与すると認める活動</li> </ol> </li> <li>・ 助成対象団体               <p>市内に住所がある、市内に主たる事務所がある、子育て支援の活動実績がある、のいずれかに該当し、構成員が2人以上の団体</p> </li> <li>・ 助成対象期間               <p>平成30年4月から平成31年3月</p> </li> <li>・ 交付額               <p>【通年】1事業あたり500,000円(1,000円未満切捨て)を上限に交付                  【上期・下期】1事業あたり250,000円(1,000円未満切捨て)を上限に交付</p> </li> <li>・ 交付実績               <p>【通年】3団体へ交付                  【上期】2団体へ交付                  【下期】1団体へ交付</p> </li> </ul>					



### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども・子育て支援事業費（認定こども園施設整備交付金・保育所等整備交付金） (こども保育課)	423,175	321,021	83,600		18,554

#### 説 明

○ 国の待機児童解消加速化プランの実施方針に基づき、幼保連携型認定こども園へ移行するための施設整備を行う事業者等に対し交付金を交付し、増加する保育ニーズへ対応するために保育枠の拡大及び良好な保育環境の整備を図りました。

#### ■ 交付金対象施設：慈光第二こども園

事業年度		交付金名称	交付金額
2ヶ年事業 (平成29年度～平成30年度)	1年目分 (繰越明許費)	保育所等整備交付金	35,444千円
		認定こども園施設整備交付金	32,656千円
	2年目分	保育所等整備交付金	108,451千円
		認定こども園施設整備交付金	107,847千円

※幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園への移行のための施設整備

※平成30年度施設整備完了

施設種別	整備前	整備後	増減
	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	
1号定員	135名	85名	△50名
2号定員	30名	52名	22名
3号定員	0名	28名	28名
合計	165名	165名	0名

※1号定員：教育枠、2号定員及び3号定員：保育枠

#### ■ 交付金対象施設：認定こども園 若松第三幼稚園

事業年度		交付金名称	交付金額
2ヶ年事業 (平成30年度～平成31年度)	1年目分	保育所等整備交付金	31,169千円
		認定こども園施設整備交付金	31,690千円

※幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園への移行のための施設整備

#### ■ 交付金対象施設：若松第二保育園

事業年度		交付金名称	交付金額
2ヶ年事業 (平成30年度～平成31年度)	1年目分	保育所等整備交付金	75,918千円

※移転のための施設整備

### 3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
子ども・子育て支援事業費（保育対策総合支援事業補助金） (こども保育課)	6,284	4,191			2,093												
説 明																	
○ 保育士の業務負担の軽減を図るため、保育所等における業務のICT化のシステム導入及び事故防止のための備品購入等を行う施設に対し、補助金を交付しました。																	
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助施設数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所等業務効率化推進事業</td> <td>7施設</td> <td>5,002千円</td> </tr> <tr> <td>保育所等事故防止推進事業</td> <td>12施設</td> <td>1,282千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13施設</td> <td>6,284千円</td> </tr> </tbody> </table>						補助項目	補助施設数	補助金額	保育所等業務効率化推進事業	7施設	5,002千円	保育所等事故防止推進事業	12施設	1,282千円	合計	13施設	6,284千円
補助項目	補助施設数	補助金額															
保育所等業務効率化推進事業	7施設	5,002千円															
保育所等事故防止推進事業	12施設	1,282千円															
合計	13施設	6,284千円															
※重複施設あり																	
児童健全育成事業費 (こども保育課)	493,465	251,966		71,843	169,656												
説 明																	
○ 昼間保護者のいない家庭の小学生に適切な遊びや生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の就労支援を図りました。 また、日新こどもクラブ及び門田こどもクラブにクラスを増設し、待機児童の解消を図りました。 さらに、こどもクラブで勤務する放課後児童支援員等を対象とした研修会を開催し、保育の質の向上を図りました。																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設数 22箇所(49クラス)</li> <li>・ 利用児童数 1,757名 (平成30年5月1日)</li> <li>・ 研修実施回数 計4回 (延べ参加人数 255名)</li> </ul>																	

## 4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
飲料水対策事業費 (健康増進課)	222,083			52	222,031
説 明					
○ 大野原地区の給水不安地区において、業務委託により給水作業を実施することにより、安全で安心な飲料水を供給しました。					
大野原地区給水作業業務委託			1,320		
○ 水源の確保が不十分な一箕町石畑地区において、業務委託による水源調査及び水量・水質調査を行い、当該地区の安定的かつ安全な水源の確保を図りました。					
石畑地区水源調査業務委託			9,288		
○ 老朽化により更新が必要となっている湊地区の3つの民営簡易水道について、将来的な維持管理のあり方の検討に資するため、業務委託により現状調査及び整備方針案の作成を行いました。					
湊町民営簡易水道施設調査業務委託			2,139		
○ 水道未普及地区の給水不安地区において、安定した給水と住民の衛生的生活を確保するため、会津若松市給水施設等整備費補助金の交付等に関する要綱に基づき、地区が行う給水施設等の整備に対し、補助金を交付しました。					
給水施設等整備費補助金			209,337		
実施地区		6地区			
・湊町赤井(穴切・小坂・廻戸)地区			45,900		
・湊町笹山原地区			61,776		
・湊町中田(鶉ノ浦)地区			32,584		
・湊町経沢地区			19,095		
・湊町中田(松崎)地区			10,897		
・大戸町桑原地区			39,085		
・湊町崎川(浜)地区			97,200		(次年度へ繰越)
母子保健事業費(5歳児発達相談事業) (健康増進課)	323				323
説 明					
○ 注意欠陥多動性障害(ADHD)や広汎性発達障害などの軽度発達障害等を早期に発見し、適切な支援につなげ、適正就学を図ること及び二次的不適応を予防することを目的に、5歳児の保護者を対象にアンケートを行い、その結果をもとに、必要に応じた相談支援や発達相談会を行いました。					
アンケート調査及び発達相談会勸奨費			198		
支援実績					
・対象者数			941		
・回答者数			689		(回収率73.2%)
・アンケート結果による相談件数			205		
・経過観察及び発達相談会参加件数			48		

# 6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業応援総合プロデュース事業費 (農政課)	35,520	34,657			863

## 説 明

### ○ 安全農産物生産支援事業

放射性物質吸収抑制対策の支援により、放射性物質が検出されない安全な農産物の生産を図りました。

#### 1. 放射性物質吸収抑制対策事業補助金

##### ① 資材導入支援

- ・ 内 容 放射性物質の農作物への吸収を抑制する資材の導入に要する費用
- ・ 補助対象者 J A等農業者の組織する団体 (計11団体)
- ・ 対象資材 カリ肥料 (塩化カリ、有機カリ)
- ・ 受益作物及び面積 水稻 計 3,988ha

##### ② 効果検証支援

- ・ 内 容 放射性物質の吸収抑制対策を実施するほ場と実施しないほ場を設置して、それぞれのほ場で生産された作物の放射性物質の濃度を測定し、当該年度の事業効果を検証しました。
- ・ 実施個所数 水稻 25箇所

### ○ 農産物安全情報等発信事業

農産物の安全情報を量販店等の店頭で確認できる体制を整備するとともに、農産物販売促進チラシを作成して、生産者や流通業者の販売を支援しました。

1. 農産物安全情報パネル設置
  - ・ 設置店舗数 23店舗
  - ・ 設置回数 年2回 (春・秋)
2. 農産物販売促進チラシ
  - ・ 作成品目数 12品目 (米、農産物全般、果樹)
  - ・ 利用方法 市ホームページ、農政課窓口等での配布

### ○ 農産物等販路開拓・販売促進事業

首都圏等でのイベントを通じて、地元農産物の安全・安心・高品質・良食味についてPRを実施し、販路の維持・拡大を図りました。

1. 販路開拓に係る個別相談会開催
  - ・ 市内において1回開催
2. PR活動
  - ・ イベント等への出展 5回

平成30年10月16日	大野屋における販売促進イベント	神奈川県川崎市
11月3日～25日	会津みしらず柿販売促進イベント	福島県内等
11月14日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県横須賀市等
11月17日～18日	横須賀市友好都市フェア	神奈川県横須賀市
11月24日～25日	北会津銘柄米部会消費地情勢調査活動及び販売促進活動	神奈川県横須賀市

## 6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																
水田利活用推進事業費（GAP推進補助金） (農政課)	662				662																
説 明																					
<p>○ 平成29年10月23日に制定された「市GAP推進基本方針」に基づき、第三者認証GAP又は県GAPの取得推進を図るため、認証取得に向けた取組初期段階におけるICTの利活用（情報機器導入）を支援しました。</p> <p style="text-align: right;">※GAP：農業生産工程管理</p> <p>1. 補助要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三者認証GAP又は県GAP認証の新規取得又は更新に取り組み、1年以内に新規取得又は更新する者</li> <li>・ 生産数量（面積）の目安を達成している者又は生産調整方針作成者として需要に応じた生産を行っている者と認められる者</li> <li>・ 本市水田に出荷販売を前提に水稻又は園芸作物を作付する者</li> </ul> <p>2. 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 件数           7件（個人農家4件、農業法人3件）</li> </ul>																					
「会津の食」ブランド化事業費 (農政課)	10,000	3,000			7,000																
説 明																					
<p>○ あいづ食の陣実行委員会負担金</p> <p>あいづ食の陣実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした商品の開発・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。</p> <p>① シーズンイベント</p> <p>1年間を春（4月～6月）、夏（7月～9月）、秋（10月～12月）、冬（1月～3月）の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産等の情報提供をするとともに、シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや各シーズンの会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏</li> <li>・ 参加店舗の実績</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 春・アスパラ</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店</td> <td style="text-align: right;">計60店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 夏・トマト</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店</td> <td style="text-align: right;">計60店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 秋・米、酒</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：19店</td> <td style="text-align: right;">計66店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 冬・会津地鶏</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：36店、宿泊施設：7施設、販売店：5店</td> <td style="text-align: right;">計48店舗</td> </tr> </table> <p>② 広報PR活動</p> <p>地域内外でのイベント開催等によるPR活動や、参加団体が実施する食のイベントの情報を集約し広くPR活動を実施しました。また、テーマ食材別パンフレットの作成（4回）、イベントへの出展等、市ホームページ、公式ホームページ、フェイスブック、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。</p>						* 春・アスパラ	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店	計60店舗	* 夏・トマト	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店	計60店舗	* 秋・米、酒	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：19店	計66店舗	* 冬・会津地鶏	：	飲食店：36店、宿泊施設：7施設、販売店：5店	計48店舗
* 春・アスパラ	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店	計60店舗																		
* 夏・トマト	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：13店	計60店舗																		
* 秋・米、酒	：	飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：19店	計66店舗																		
* 冬・会津地鶏	：	飲食店：36店、宿泊施設：7施設、販売店：5店	計48店舗																		

## 6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津の夏まつり事業負担金 (農政課)	794				794
説 明					
<p>○ 当該事業への支援を通じ、J A会津よつばと会津地域17市町村が連携し、首都圏や関西圏において市場関係者との販売対策会議や量販店でのトップセールスを行い、会津産農産物の美味しさや安全・安心の取組について、市場関係者や消費者の理解を得ることができました。</p> <p>1. 事業名 J A会津よつば・17市町村合同トップセールス「会津の夏まつり」</p> <p>2. 主催 会津夏まつり実行委員会（構成団体：J A会津よつば、会津地域17市町村）</p> <p>[首都圏]</p> <p>①開催日 平成30年8月2日（木）～8月5日（日）</p> <p>②開催場所 東京都内</p> <p>③内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊洲・築地・大田の3市場の訪問・販売対策会議の開催</li> <li>・市場仲卸との情報交換会の開催</li> <li>・消費者向け合同トップセールスの開催</li> </ul> <p>[関西圏]</p> <p>①開催日 平成30年7月6日（金）～7月8日（日）</p> <p>②開催場所 大阪市内</p> <p>③内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青果・花卉市場との販売対策会議の開催</li> <li>・吉本興業訪問（会津地域応援依頼）</li> <li>・よしもとなんばランド花月でのサンプル配布</li> <li>・量販店フェアの開催</li> </ul>					

## 6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津みしらず柿販路拡大促進協議会負担金 (農政課)	200				200
説 明					
<p>○ 会津みしらず柿の国内外への販路を拡大するため、当協議会に平成30年度から加入しました。 平成29年度にみしらず柿の輸出を行った際に、輸送中の品質保持が大きな課題であったため、平成30年度は、どの脱渋手法が輸出に適しているかなどのテスト輸送を実施したことにより、輸出量は低調でしたが、品質保持のための輸送方法の確立など、一定の成果がありました。 また、会津みしらず柿の「柿酢」を活用したスポーツドリンクを開発し、販売しました。</p> <p>① 会津みしらず柿販路拡大促進協議会 構成団体：会津坂下町、会津美里町、会津若松市、会津よつば農業協同組合</p> <p>② 平成30年度海外輸出実績 タイ：1,028kg マレーシア：75kg</p> <p>③ その他参加イベント ・名 称：ビジネスマッチ東北2018 ・開催日：平成30年11月6日（火） ・会 場：夢メッセみやぎ</p> <p>④ 会津みしらず柿を活用した新商品開発 〔発売済み〕 ・会津みしらず柿の「柿酢」を活用したスポーツドリンク 〔開発中〕 ・会津みしらず柿の「柿渋」を活用した消臭剤（ミスト） ・会津みしらず柿の「柿渋染」を活用したインナー等</p>					

## 6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市産米価格維持向上推進事業費 (農政課)	7,088				7,088
説 明					
<p>○ 会津産コシヒカリの中でも栽培方法や食味値などによって厳選した米を「AiZ' S-RiCE」としてブランド化し、米集出荷業者が共同でPR・販売することで、本市産米価格の維持・向上を図りました。首都圏でのデビューイベントやモニター販売の実施、オンラインストアへの出店をはじめ、会津エリアにおいても地産地消まつりでのPRなど、効果的な情報発信ができました。</p> <p>①会津エリアでのプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップセールス及び試食販売の実施（リオンドール、コープあいつ）</li> <li>・農作業体験ツアーの実施（田植え・稲刈り体験）</li> <li>・SNS活用キャンペーンの実施</li> <li>・地産地消まつりでのPR・販売</li> <li>・地元飲食店フェアの実施</li> </ul> <p>②首都圏エリアでのプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デビューイベントの実施（つきぢ田村）</li> <li>・有名料理店フェアの実施（つきぢ田村）</li> <li>・首都圏飲食店フェアの実施（横須賀市内の10店舗）</li> <li>・イベント販売の実施（横須賀市、横浜市、日野市など）</li> <li>・モニターアンケートの実施（会津会、みやぎ会津会、会津赤べこ会）</li> </ul> <p>③オンラインストアへの出店（Amazon、Yahooショッピング）</p> <p>④商談会への出展</p> <p>⑤商品名・ロゴタイプ・パッケージデザインの作成</p> <p>⑥販促品の作成（パンフレット、のぼり、ミニのぼり、法被、テーブルクロスなど）</p>					
畜産振興事業費（肉用繁殖牛経営基盤強化 支援事業補助金） (農政課)	1,727				1,727
説 明					
<p>○ 市内畜産農家が出荷する肉用子牛の優良血統への転換を推進し、収益性の向上を図るため、優良血統の繁殖雌牛の導入に際して、購入費用の一部を補助しました。</p> <p>1. 補助金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入価格の10%以内</li> </ul> <p>2. 補助申請者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件（会津よつば農業協同組合）</li> <li>※市内畜産農家の繁殖雌牛導入（セリ）についてはJA会津よつばが一括管理。</li> </ul> <p>3. 補助対象概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入頭数：17頭</li> </ul>					



## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>地場産業振興事業費（会津漆器販路拡大事業実行委員会負担金）</b> （商工課）	2,942				2,942
説 明					
○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバルへの出展を支援するため、会津漆器販路拡大事業実行委員会へ負担金を交付し、新しくデザインされた会津塗の魅力づくりと発信により、会津塗の振興を図りました。					
1 勉強会（全3回） 内 容：「デザインにおける和モダンスタイル」「異業種と組み合わせた印象的なみせ方」など 参加者：延べ28名					
2 商品開発指導会（全4回） 参加企業：延べ32社					
3 テーブルウェア・フェスティバルへの出展 開催期間：平成31年2月3日～2月11日（9日間） 開催場所：東京ドーム 参加企業：7社					
4 フィードバックセミナーの実施（1回） 内 容：魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて協議を行いました。 参加企業：7社					
5 流通マーケティングセミナー（全2回） 内 容：「何のために何をつくるか～今の市場から捉える」「流通の現状と少し先の未来」 参加者：延べ26名					
6 地域内展示（会津ブランドものづくりフェアとのタイアップ） 開催期間：平成30年10月12日～10月14日（3日間） 開催場所：會津稽古堂 参加企業：10社					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津清酒消費拡大推進協議会負担金） （商工課）	1,500			1,305	195
説 明					
○ 会津清酒の消費拡大を図るため、会津清酒消費拡大推進協議会へ負担金を交付し、住民参加型のイベントや講習会等の事業を実施しました。					
1 「会津 日本一おいしいお酒が飲める郷」事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「会津清酒の普及促進に関する条例」などの啓発事業 HPやSNSによる情報発信</li> <li>・会津の品格セット普及・拡大推進事業 各種イベントにおいて、会津清酒と会津漆器、会津木綿を組み合わせた、「会津の品格セット」の展示や販売、贈答品として活用・PR</li> <li>・地域イベントでの会津清酒のPR事業 東山盆踊り、街ぐるウォーク、芦ノ牧温泉あゆの会等のイベントにおいて、会津清酒をPRしました。</li> </ul>					
2 会津清酒屋台村事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成30年4月21日（土） 場 所：鶴ヶ城二の丸 参加者数：約500名</li> <li>・開催日：平成30年10月1日（月） 場 所：鶴ヶ城帯廓 参加者数：約600名</li> </ul>					
3 会津清酒夏酒イベント事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成30年7月25日（水） 場 所：会津若松ワシントンホテル 参加者数：256名</li> </ul>					
4 会津清酒で乾杯事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成30年10月1日（月） ※10月1日「日本酒の日」に合わせた乾杯イベント 場 所：鶴ヶ城帯廓 参加者数：約400名</li> </ul>					
5 会津清酒おもてなし講座事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：平成30年4月～平成31年3月 回 数：7回 参加者数：約350名</li> </ul>					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (商工課)	9,213			8,019	1,194
説 明					
<p>○ イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の農産食品を継続的に首都圏に流通させていくため、桜咲く会津プロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、各種事業の展開により、販路開拓を図りました。</p> <p>1 イオングループ4店舗において会津フェスタを開催            実施期間：平成30年7月～平成30年11月            開催内容：トップセールス、催事、郷土芸能披露、観光PR、地域製品の試食PRなど            開催地域：関東地域</p> <p>2 商談会の実施            開催回数：15回            開催場所：市内、千葉県            開催内容：市内企業とイオングループバイヤーとの商談会            参加企業：市内企業延べ45社</p> <p>3 研究会の開催            開催回数：6回            開催場所：市内等            開催内容：「生産量の確保及び流通網の整備」と「輸出コストの削減」といった課題を解決するため、地域内での生産活動を行う農畜産業者、食品加工業者などを対象とした研究会を実施</p> <p>4 イオンイーハートとの連携            開催回数：3回            開催場所：会津地域内            開催内容：会津産コシヒカリを使用しているイオンイーハートの新入社員を受け入れ、会津産コシヒカリや農産物等の理解促進を図るための研修を実施            受入人数：延べ43名</p> <p>5 人材育成セミナーの実施            開催場所：市内            内 容：イオングループのアジア戦略、香港市場の動向と将来性など            参加者：会津地域内企業18名</p> <p>6 輸出トライアル事業（会津フェスタinイオン香港）            実施期間：平成30年11月23日～27日            実施場所：イオンスタイル コーンヒル店            実施内容：トップセールスや会津製品の試食販売、観光PR、市場調査など</p>					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
商業地域活性化事業費（中小企業振興補助金） (商工課)	17,410	6,019		1,226	10,165

### 説 明

- 中小企業の振興及び商店街の活性化を図るため、商店街等が行う各種事業に対し、補助金を交付しました。

事業名	件数（件）	金額（千円）
イベント事業補助金	10	2,552
人材育成事業補助金	3	354
商店街空き店舗対策事業補助金	18	13,290
商店街施設維持管理事業補助金	15	1,214
合計	46	17,410

#### 1 イベント事業補助金

商工業の振興及び商店街の活性化を図るため、共同して市民を対象としたイベントを開催する事業に対し、補助を行いました。

- ・大町四ツ角中央商店街振興組合 「大町ふれあいこどもまつり」
- ・会津MARCHE実行委員会 「会津MARCHE」
- ・会津若松市まちなか健康商店街実行委員会 「会津若松市まちなか元気プロジェクト」
- ・会津若松卸商団地協同組合 「第12回会津アピオフェスティバル」 ほかに6件

#### 2 人材育成事業補助金

経営管理能力及び技術の向上等を目的とした研修の実施や、他の団体等が主催する研修への参加に対し、補助を行いました。

- ・七日町通りまちなみ協議会
- ・いにしえ夢街道協議会
- ・神明通り商店街振興組合

#### 3 商店街空き店舗対策事業補助金

空き店舗の解消を図るため、商店街が自ら選定した業種を空き店舗へ誘致する事業に対し、補助を行いました。

- ・大町四ツ角中央商店街振興組合 6件
- ・七日町通りまちなみ協議会 4件
- ・会津若松市中央通り商店振興会 2件
- ・会津若松市役所通り商店街振興組合 2件 ほかに4件

#### 4 商店街施設維持管理事業補助金

街路灯の維持管理に要する電気使用料に対し、補助を行いました。

- ・神明通り商店街振興組合
- ・会津若松市中央通り商店振興会
- ・大町四ツ角中央商店街振興組合 ほかに12件



## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
漆香るプロジェクト推進事業費 (商工課)	4,947			4,306	641
説 明					
<p>○ 会津塗のブランド力向上と販売促進を図るため、漆香るプロジェクト実行委員会へ負担金を支出し、ANAグループと連携した各種事業や国内外に向けた漆器の情報発信とプロモーションに取り組みました。</p> <p>1 ANAグループへの採用を目指した取組</p> <p>①ANAグループ内での理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業内マルシェの実施 開催日：平成30年12月14日（金） 開催場所：羽田空港国内線ビル（ANAグループ社内） 開催内容：ANAグループ社員を対象とした会津塗の展示や実演、地場製品の販売、PR 来場者：約120名</li> <li>②商品採用に向けた勉強会及び研究会</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の実施 内 容：全日本空輸(株)商品戦略部の担当者によるANAサービスと商品戦略に関するセミナー 参加者：8名</li> <li>・研究会の実施 内 容：ANA通信販売の採用を目指したコンセプトづくりと商品選定など（全3回） 参加者：延べ22名</li> </ul> </ul> <p>2 世界への情報発信・プロモーションとインバウンド向けプロモーション</p> <p>①訪日外国人向けプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「會津 極上の絶景と技展」の開催 開催期間：平成30年7月22日（日） 開催場所：福島空港 開催内容：チャーター便を利用する約150名の台湾人観光客に対し、会津塗の実演や展示等の会津地域のPRを実施</li> <li>②インバウンド受入れのためのセミナー 内 容：ANAデジタルゲート(株)の担当者等による免税店・キャッシュレス対応に関するセミナー 参加者：18名</li> </ul> <p>3 海外への輸出促進等に向けた取組</p> <p>①海外セレクトショップとの商談会 内 容：フランスのセレクトショップオーナーとの商談会 参加者：市内企業4社</p> <p>②輸出に向けた実務セミナー 内 容：インターナショナル・カーゴ・サービス(株)の担当者による海外への総合的な物流知識の習得に向けたセミナー 参加者：18名</p>					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
企業誘致促進事業費 (企業立地課)	105,179				105,179
説 明					
<p>○ 産業振興や雇用の拡大、定住人口の増加など地域経済の活性化を図るため、積極的な企業訪問による誘致活動に取り組み、そのネットワークを拡大したところであり、その結果として、平成30年11月に会津若松徳久工業団地の分譲が完了しました。 また、会津若松徳久工業団地への立地企業に対する用地取得助成金など各種支援制度の活用を通じ、企業の操業を支援することで本市工業の振興を図りました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>(1) 旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業訪問等件数 102件</li> <li>・ 旅 費 1,337千円</li> </ul> <p>(2) 企業立地奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 件 数 1件 (河東工業団地、西田精機株式会社)</li> <li>・ 交付金額 946千円</li> </ul> <p>(3) 用地取得助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 件 数 1件 (徳久工業団地、東亜電気工業株式会社)</li> <li>・ 交付金額 93,060千円</li> </ul>					

# 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
医工連携推進事業費（医療トレーニング機器開発推進事業委託料） (企業立地課)	1,539			1,339	200
説 明					
<p>○ アドバイザー等からの助言を受けて、市内企業3社が製作を進めてきた「心臓冠動脈カテーテル治療トレーニング用手首モデル」の試作品について、県内の医療機関で実際に試用してもらい、医療従事者等から意見や評価の聴取を行いました。なお、試作品については、展示会への出展や成果報告会を実施し、市内外の企業や関係者への周知を図りました。</p> <p>また、医療機関や産業支援団体等を構成員とするコンソーシアム会議を開催し、市内企業による医療トレーニング機器の開発を支援しました。</p>					
<p>[委託先] 一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構</p> <p>[コンソーシアム会議構成企業・団体] 市内企業（北日本金型工業(株)、(株)サンブライト、西田精機(株)、会津若松市、会津若松商工会議所、福島県立医科大学会津医療センター、福島県医療機器販売業協会、福島県発明協会、会津産業ネットワークフォーラム、ふくしま医療機器産業推進機構</p>					
<p>1. コンソーシアム会議開催による開発支援（1回）</p> <p>2. 県内の医療機関でのユーザビリティ評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 ①竹田総合病院 10月25日（木）～11月1日（木）</li> <li style="padding-left: 20px;">②星総合病院（郡山市） 11月30日（金）</li> <li style="padding-left: 20px;">③藤田総合病院（国見町）12月25日（火）</li> <li>・内 容 上記病院に試作品を貸与し、医療従事者（医師、看護師、研修医、臨床工学技士）に試用してもらったうえで、評価や意見を聴取することができました。</li> </ul> <p>3. 医療機器関連展示会への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会 メディカルクリエーションふくしま2018</li> <li>・会 期 平成30年10月18日（木）～19日（金）</li> <li>・会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）</li> <li>・来場者 3,612人</li> </ul> <p>4. 成果報告会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時 平成31年3月28日（木）</li> <li>・会 場 ホテルニューパレス（市内中町）</li> <li>・内 容 ①市内企業3社による成果報告</li> <li style="padding-left: 20px;">②講演</li> <li style="padding-left: 40px;">演題「医療トレーニングシミュレータの現状と今後への期待～教育および在宅看護・介護の視点から～」</li> <li style="padding-left: 40px;">講師：日本大学工学部 電気電子工学科 特任教授 入谷 隆一 氏</li> <li style="padding-left: 40px;">一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構</li> <li style="padding-left: 40px;">プロジェクトアドバイザー 橋本 祐子 氏</li> <li>・参加者 市内企業等17社31名</li> </ul>					



## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（会津まつり協会負担金） （観光課）	73,408			2,620	70,788
説 明					
<p>○ 会津まつり協会に対して負担金を支出し、まつりやイベント等の開催によるにぎわいの創出や地域の振興を図りました。</p> <p>1. 会津まつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 間：平成30年9月22日(土)～24日(月)</li> <li>・ 観客数：約244,500人</li> <li>・ 実施イベント：提灯行列、会津磐梯山踊り、日新館童子行列、鼓笛隊パレード、会津藩公行列</li> <li>・ 提灯行列は、戊辰150周年を記念して会津藩士が眠る飯盛山など3ヵ所で「慰霊の火」を採火し、各地区の子ども達が本丸へ運び出発式を行いました。会津藩公行列は、「奥羽越列藩同盟」をテーマに加盟藩ゆかりの地の方々が参加したほか、特別ゲストとして綾瀬はるかさん、鈴木梨央さんに参加していただきました。</li> </ul> <p>2. 鶴ヶ城さくらまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 間：平成30年4月6日(金)～5月6日(月)</li> <li>・ 来場者数：約239,800人</li> <li>・ 実施イベント：あいづ着物でさんぼ、會津十楽、植木市、大撮影会、さくらまつり大茶会、会津清酒で花見酒、戊辰150周年記念吉田類トークショー、戊辰150周年記念ステージなど</li> <li>・ 春の鶴ヶ城公園ライトアップ期間に、鶴ヶ城で行われる各種イベントを「鶴ヶ城さくらまつり」と総称し、一体的に広報を行うことで、相乗的な集客を図りました。</li> </ul> <p>3. 会津絵ろうそくまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 間：平成31年2月8日(金)～2月9日(土)</li> <li>・ 来場者数：約25,900人</li> <li>・ 会津大学短期大学の学生による干支「イノシシ」の地上絵のほか、日光市鬼怒川温泉の秋イベント「月あかり花回廊」から和傘を利用した光のモニュメントも展示されました。</li> </ul> <p>4. 体感！光の杜ミュージアム（アイズテラス）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴ヶ城本丸において、体験型イルミネーションや隣閣ライトアップなどを行い、冬季の観光誘客を図りました。</li> <li>・ 期 間：平成31年2月15日(金)～3月3日(日)</li> <li>・ 来場者数：約3,200人</li> </ul> <p>5. 歳の神事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東山温泉観光協会との共催により、小正月の伝統行事の継承と市民・観光客の交流促進を図りました。</li> <li>・ 期 日：平成31年1月14日(月)</li> <li>・ 来場者数：約800人</li> </ul>					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
観光振興事業費（会津若松観光ビューロー補助金） （観光課）	35,966				35,966																								
説 明																													
○ 一般財団法人会津若松観光ビューローが実施する、観光振興及び物産振興に資する事業に対して、補助金を交付しました。																													
1. 観光案内所管理運営業務 観光案内所の管理運営と観光案内の機能充実に努めました。																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>案内所</th> <th>30年度案内件数</th> <th>うち外国人観光客数</th> <th>29年度案内件数</th> <th>うち外国人観光客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会津若松駅案内所（V案内所）</td> <td>45,803人</td> <td>3,927人</td> <td>43,601人</td> <td>2,823人</td> </tr> <tr> <td>飯盛山観光案内所</td> <td>9,207人</td> <td>266人</td> <td>14,953人</td> <td>165人</td> </tr> </tbody> </table>						案内所	30年度案内件数	うち外国人観光客数	29年度案内件数	うち外国人観光客数	会津若松駅案内所（V案内所）	45,803人	3,927人	43,601人	2,823人	飯盛山観光案内所	9,207人	266人	14,953人	165人									
案内所	30年度案内件数	うち外国人観光客数	29年度案内件数	うち外国人観光客数																									
会津若松駅案内所（V案内所）	45,803人	3,927人	43,601人	2,823人																									
飯盛山観光案内所	9,207人	266人	14,953人	165人																									
2. ボランティアガイドの運営 市民ボランティアガイドの運営により、親切丁寧な観光案内に努めました。																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>30年度実績</th> <th>鶴ヶ城ガイド</th> <th>まちなかガイド</th> <th>講話ガイド</th> <th>飯盛山ガイド</th> <th>御薬園ガイド</th> <th>七日町ガイド</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4,786件</td> <td>61件</td> <td>2件</td> <td>635件</td> <td>2,009件</td> <td>70件</td> <td>7,563件</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>44,580人</td> <td>1,161人</td> <td>30人</td> <td>7,244人</td> <td>10,682人</td> <td>356人</td> <td>64,053人</td> </tr> </tbody> </table>						30年度実績	鶴ヶ城ガイド	まちなかガイド	講話ガイド	飯盛山ガイド	御薬園ガイド	七日町ガイド	合計	件数	4,786件	61件	2件	635件	2,009件	70件	7,563件	利用者数	44,580人	1,161人	30人	7,244人	10,682人	356人	64,053人
30年度実績	鶴ヶ城ガイド	まちなかガイド	講話ガイド	飯盛山ガイド	御薬園ガイド	七日町ガイド	合計																						
件数	4,786件	61件	2件	635件	2,009件	70件	7,563件																						
利用者数	44,580人	1,161人	30人	7,244人	10,682人	356人	64,053人																						
3. 物産推進事業 関係団体と連携し、イベントへの出展や観光・物産PRを実施しました。																													
4. PR活動事業 HPや観光パンフレットにより、観光情報の発信に努めました。 ・HP「会津若松観光ナビ」の運営 ・観光パンフレットや観光マップの作成・配布																													
5. 会津若松市観光大使等事業 ・新たに3名の観光大使を任命し、観光PRに努めました。（平成31年3月末現在 28名） ・「会津キャンペーンクルー」の派遣により、本市のイメージアップと観光PRに努めました。 派遣回数 35回。																													
6. 賛助会員交流事業 連絡協議会の開催や情報誌の発行を行い、賛助会員相互の連携と情報共有に努めました。 平成31年3月末現在 会員数321社。 ・連絡協議会 2回開催      ・会報誌発行 9月、1月																													
7. 手ぶらでまちなか観光事業 東山温泉観光協会・芦ノ牧温泉観光協会との連携により、会津若松駅でお客様の手荷物を預かり、両温泉の宿泊施設までお届けするサービスを提供しました。利用件数 2,909件。																													
8. おもてなし事業 会津若松駅において、SL(DL)ばんえつ物語号、TRAIN SUITE 四季島等の歓迎おもてなしを実施しました。実施回数23回。																													

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（全国商工会議所観光振興大会開催事業補助金） (観光課)	8,500				8,500
説 明					
○ 日本商工会議所及び会津若松商工会議所による「全国商工会議所観光振興大会2018 in会津若松」の開催に対し、補助金を交付しました。					
1. 開催概要					
(1) 第1日目（平成30年11月5日(月)）					
① 全体会議					
・ 会場 : 會津風雅堂					
・ 参加者数 : 1,296人					
② 全体交流会					
・ 会場 : あいづ総合体育館					
・ 参加者数 : 1,058人					
(2) 第2・3日目（平成30年11月6日(火)・7日(水)）					
① 分科会（6日(火)）					
・ 会場 : 會津風雅堂、文化センター、ベルルクス					
・ 参加者数 : 814人					
② エクスカーション					
・ テーマ : 日帰り5コース（戊辰150年、会津ICT など）					
1泊2日4コース（仏都会津、下野街道 など）					
・ 参加者数 : 254人					
観光振興事業費（鶴ヶ城プロジェクトマッピング事業補助金） (観光課)	9,000				9,000
説 明					
○ 冬季観光及び通年型観光を推進するため、fukushimaさくらプロジェクトが開催する「鶴ヶ城プロジェクトマッピング はるか2019」事業に補助金を交付し、開催を支援しました。					
・ 主 催 fukushimaさくらプロジェクト					
・ 共 催 会津若松市					
・ 日 時 平成31年3月21日(木・祝)、22日(金)・23日(土) 各日4回、計12回開催					
・ 会 場 鶴ヶ城本丸					
・ 観 客 数 約12,000人					
・ 費用負担 市補助金 9,000千円（全体経費 83,595千円）					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光物産復興特別事業費（会津若松観光ビューロー特別補助金） （観光課）	17,950				17,950

### 説 明

○ 冬季の誘客対策、広域観光、教育旅行やインバウンドの推進など、原子力発電所事故による風評を払しょくするため、会津若松観光ビューローが重点的に実施する事業に対し補助金を交付しました。

#### 1. 教育旅行推進事業

県外の小中学校や旅行会社などへの訪問活動を通して、本市の魅力や安全性などについての情報発信を行い、教育旅行の回復に努めました。

- ・ 学校・旅行エージェント訪問 163件  
※うち生徒の保護者への講和・説明の実施 1件
- ・パンフレット（教育旅行版『あいばせ』）等の作成・配布

	平成30年度	平成29年度	対前年比
県外来訪校数	670校	639校	104.9%

#### 2. インバウンド推進事業

多言語パンフレットなどの外国人向けPRツールの作成・配布や各種プロモーション・商談会への参加などにより、インバウンド誘致と受入態勢の強化に努めました。

#### 3. コンベンション推進事業

市内の宿泊施設、会議施設、観光資源などの情報発信や開催支援事業（助成制度）の実施により、コンベンション誘致に努めました。

#### 4. エージェント助成金事業

冬季における誘客促進のため、エージェントに対し送客実績に応じた助成を行い、誘客数の増加を図りました。

#### 5. 観光交流推進事業

新潟市と連携して北海道での観光物産展に出展し、観光物産振興に努めました。

#### 6. DMO推進事業

観光動向に係る基礎データの収集、研修会等への参加によりDMO手法のスキルアップに努めるとともに、「会津若松観光ナビ」のリニューアルによりデジタルプロモーションの強化を図りました。

また「地域限定旅行業」を取得し、着地型商品の造成・販売を行いました。1商品・22名参加。

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
戊辰150周年記念事業費 (観光課)	85,221			80,558	4,663
説 明					
○ 会津戦争終結150周年にあたり、戊辰150周年記念事業実行委員会に負担金を支出し、先人の顕彰及び会津の歴史的意義の再認識を行うとともに、各種記念事業を実施し観光誘客を図りました。					
1. 記念事業					
(1) 記念式典					
戊辰150周年を記念して、ゆかりの地や関係団体、市民等が一堂に会した記念式典を開催しました。					
・開催日：平成30年9月22日(土)					
・会場：會津風雅堂					
・来場者数：約1,700人					
・内容：[第1部]先人顕彰功労者表彰、作文コンクール表彰、記念宣言、基調講演(会津松平家14代当主松平保久氏)					
[第2部]郷土芸能披露、トークショー(松平保久氏、柳澤秀夫氏、綾瀬はるかさん、鈴木梨央さん)					
(2) 記念誌の作成					
記念宣言や市内外関係者からの寄稿、会津の先人紹介等を掲載した記念誌を作成しました。					
・発行部数：3,000部					
(3) 「オペラ白虎」の公演					
白虎隊を題材とした「オペラ白虎」の公演を行いました。					
・開催日：平成30年7月28日(土)・29日(日)					
・会場：會津風雅堂					
・来場者数：1,461人					
(4) 歴史シンポジウムの開催					
「東北・北陸における戊辰戦争－奥羽越列藩同盟と会津」をテーマにシンポジウムを開催し、金谷俊一郎氏の基調講演やゆかりの地の関係者によるパネルディスカッションを行いました。					
・開催日：平成30年5月19日(土)					
・会場：会津大学講堂					
・来場者数：約300人					
2. 記念展示事業					
(1) 市内戊辰特別展示周遊企画「戊辰ミステリーラリー」の実施					
幕末をテーマとした展示施設の周遊を図るため、クイズラリーを実施しました。					
・開催期間：前期 平成30年4月1日(日)～7月31日(火)					
後期 平成30年8月1日(水)～11月9日(金)					
・参加施設：10施設					
・応募数：332件					
3. 誘客宣伝事業					
(1) 特別番組の放映					
会津の「義」をテーマとした番組を民放BS各局で放送するとともに、YouTubeで動画を配信しました。併せて海外(東南アジア地域)向けCS放送で英語版を配信しました。					
・放送実績：平成30年5月26日(土)～6月3日(日)の間に4回放映					
(2) 広告掲載・協賛事業					
観光誘客を図るため、新聞や雑誌、駅に広告を掲載しました。また、首都圏のホテルでのフェアなどの事業に協賛しました。					
(3) 新選組フォトコンテストの開催					
七日町通り、鶴ヶ城、飯盛山、会津武家屋敷において、新選組のフォトコンテストを開催しました。					
・応募点数：101点					
4. 機運醸成事業					
(1) 県内放送局への特別番組作成補助					
県内放送局による戊辰150周年を記念した番組の制作・放映に対して、補助金を交付しました。					
・補助実績：民放テレビ3局、民放ラジオ2局					
(2) 各種団体事業への補助					
市民団体等が行う戊辰150周年関連事業に対して、補助金を交付しました。					
・交付団体数：21団体					

## 7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2019春の観光誘客促進事業費 (観光課)	24,500			15,165	9,335
説 明					
<p>○ 2019年のゴールデンウィークが10連休となることから、観桜期からゴールデンウィークにかけて観光誘客事業を展開し、観光振興及び地域経済の活性化を図りました。</p> <p>1. 誘客促進事業</p> <p>(1) 「会津サムライまつり」の開催 鶴ヶ城公園において、サムライをテーマとした様々なイベントを開催し、観光誘客を図りました。</p> <p>○サムライアーティストステージイベント ・日 時：令和元年5月3日(金)～5日(日) 午前・午後の2回開催 ・参加者：3,108人</p> <p>○甲冑着付体験・乗馬体験 ・日 時：平成31年4月28日(日)～令和元年5月5日(日) ・参加者：1,951人</p> <p>○サムライ合戦体験 ・日 時：平成31年4月28日(日)～29日(月) 午前・午後の2回開催 ・参加者：471人</p> <p>(2) 「あいつ楽食・楽酒」の開催 「春の食・酒」をテーマとして各飲食店をめぐるスタンプラリーを実施しました。 ・開催期間：平成31年4月5日(金)～令和元年5月6日(月) ・参加店舗：47店舗 ・スタンプラリー応募：56通</p> <p>2. 誘客宣伝事業</p> <p>(1) 新聞への広告PR 県内及び隣県の新聞に誘客のための広告掲載を行いました。 ・掲載紙：6紙</p> <p>(2) チラシ・ポスターによる広告PR 告知のためのチラシ・ポスターを作成し、首都圏鉄道沿線などへの掲示を行いました。 ・掲示駅：JR東日本746駅・東武鉄道13駅及び全線での中張りポスター掲出</p> <p>3. 渋滞対策事業</p> <p>(1) 臨時駐車場対応と交通規制の実施 県立会津総合病院跡地や会津大学駐車場などを臨時駐車場として確保するとともに、鶴ヶ城公園周辺の一部を一方通行とし、渋滞緩和を図りました。 ・交通規制期間：平成31年4月28日(日)～令和元年5月5日(日)</p> <p>(2) シャトルバスの運行 交通渋滞緩和のため、シャトルバスの運行を行いました。 ・運行期間：平成31年4月28日(日)～令和元年5月5日(日) ・運行本数：1日あたり片道25便 ・運行区間：会津大学～神明通り～ICTオフィスビル前</p>					

## 8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
建築確認に要する経費（避難路沿道建築物耐震診断・耐震改修支援事業補助金） (建築住宅課)	298,486	254,876			43,610
説 明					
○ 耐震診断が義務化された対象建築物について、耐震診断に要する費用を支援し、また、耐震診断を実施した結果、耐震性能が不足しているものに対し、建築物の耐震化を図るため、耐震改修費用を支援しました。					
1. 避難路沿道建築物耐震診断					
内 容		事業量	金 額		
耐震診断（H29年度繰越分）		7件	13,724千円		
耐震診断		8件	23,102千円		
合 計		15件	36,826千円		
2. 避難路沿道建築物耐震改修					
内 容		事業量	金 額		
耐震改修		1件	261,660千円		
合 計		1件	261,660千円		
除雪対策事業費 (道路維持課)	585,710	83,754	14,200	26,809	460,947
説 明					
○ 冬期交通の安全確保を目的に、除排雪対策、雪害対策を実施しました。					
1. 委託料					
内 容		事業量	事業費		
道路除雪等業務		車道 832.1km	231台		352,118千円
		歩道 116.8km	36台		
間口除雪業務		52町内会	322世帯	1,740回	
消雪施設整備管理業務		点検整備操作	25.9km		23,763千円
防雪柵設置・撤去業務		固定式	4路線	1.95km	
		仮設式	9路線	3.92km	
自家用電気工作物保安管理業務		中町・赤井地区消雪施設	2箇所		306千円
除雪車運行システム業務		G P S 搭載機器	320台		12,716千円
合 計					413,519千円
2. 工事請負費					
内 容		事業量	事業費		
防雪柵設置工事		固定吹止式	H=3.5m L=40.0m		7,782千円
水源施設揚水機械補修工事		赤井地区水源施設揚水機械補修			11,772千円
消雪施設補修工事		赤井地区消雪施設補修			1,728千円
合 計					21,282千円
3. 備品購入費					
内 容		事業量	事業費		
凍結防止剤散布車		3t級 4×4 乾式	1台		23,858千円
合 計					23,858千円

## 8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
舗装及び改良事業費 (道路建設課)	98,263	46,357	41,300		10,606

### 説 明

○ 交通渋滞の解消、経済活動・観光産業の活性化促進、生活環境の改善を図るため、幹線市道の道路網整備等を図りました。また、高齢者や障がい者などの通行を安全なものとし、快適なくらしを創出するため、歩道の整備を図りました。

#### 1. 工事請負費

工 種	区 分	路線数	事 業 量	事 業 費
舗装及び改良工	幹線市道	5路線	幹 I-12号線 L=102.5m W=2.4m (歩道) 幹 I-6号線 A=142.6㎡ (交差点カラー舗装) 幹 I-28号線 L=67.0m W=2.0m 幹 II-13号線 L=101.8m W=1.8m (歩道) 一箕3-356号線 (前払金のみ)	52,427千円
合 計		5路線	271.3m	52,427千円

うち前年度からの繰越 5,593千円

他に次年度への繰越 49,070千円

#### 2. 委託料

内 容	事 業 量	事 業 費
設計業務委託	幹 I-6号線 外2件	11,561千円
不動産鑑定業務委託	門 3-223号線	497千円
物件調査業務委託	幹 I-6号線 外1件	3,359千円
その他業務委託	幹 I-28号線 (登記事務)	569千円
合 計	7件	15,986千円

#### 3. 公有財産購入費

内 容	事 業 量	事 業 費
土地代	幹 I-6号線外 3件 A=216.32㎡	17,820千円
合 計	4件	17,820千円

うち前年度からの繰越 16,517千円

他に次年度への繰越 10,825千円

#### 4. 補償補填及び賠償金

内 容	事 業 量	事 業 費
物件移転補償費等	幹 I-6号線外 4件	10,215千円
合 計	5件	10,215千円

うち前年度からの繰越 9,128千円

他に次年度への繰越 9,454千円



## 8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源									
屋外広告物対策費 (都市計画課)	6,904			5,336	1,568									
説 明														
○ 良好な広告景観の形成を図るため、本市の地域特性に応じた独自の屋外広告物等に関する条例の規定に基づき、屋外広告物の適正な規制、誘導等に努めました。														
1. 屋外広告物管理業務委託 5,958千円 新たな基準を設けた地域に掲出されている屋外広告物の現況調査を実施し、取得データをもとに台帳を電子化することにより、管理体制の強化を図りました。														
<調査地区> ・ 第三種特別規制地域等：景観重点地区（鶴ヶ城周辺地区） ・ 第四種特別規制地域等：鶴ヶ城～東山温泉～飯盛山を結ぶ主要道路の沿線 （飯盛山通り、県道湯川大町線等） ・ 第五種特別規制地域等：景観重点地区（眺望景観保全地区）														
2. 屋外広告物適正化助成金 564千円 第三種～第五種特別規制地域等において、新たな基準に適合せず、既存不適格となった屋外広告物の撤去、改修等に要する経費の一部を助成することにより、適正化の促進を図りました。														
・ 助 成 率 対象経費の1/2 ・ 限 度 額 100万円 ・ 助成期間 経過措置期間（平成30年4月1日～令和6年3月31日） ・ 利用件数 2件														
公園施設長寿命化事業費（多目的サッカー場人工芝化工事） (花と緑の課)	218,493	109,246	64,000	45,000	247									
説 明														
○ 都市公園における老朽化した施設について、安全・安心の確保並びに利便性の向上を図るため、公園施設長寿命化計画に基づき、改修を行いました。														
1. 事業内容														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内 容</th> <th style="width: 40%;">事業量</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場人工芝化工事</td> <td>                     ロングパイル人工芝舗装工 A=11,010.9㎡                      基層工（開粒度アスコン） A=11,010.9㎡                      路盤工（C-40） A=11,010.9㎡                      凍上抑制層（RC-40） A=11,010.9㎡                 </td> <td style="text-align: center;">218,493千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">218,493千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	事業量	事業費	会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場人工芝化工事	ロングパイル人工芝舗装工 A=11,010.9㎡ 基層工（開粒度アスコン） A=11,010.9㎡ 路盤工（C-40） A=11,010.9㎡ 凍上抑制層（RC-40） A=11,010.9㎡	218,493千円	合 計		218,493千円
内 容	事業量	事業費												
会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場人工芝化工事	ロングパイル人工芝舗装工 A=11,010.9㎡ 基層工（開粒度アスコン） A=11,010.9㎡ 路盤工（C-40） A=11,010.9㎡ 凍上抑制層（RC-40） A=11,010.9㎡	218,493千円												
合 計		218,493千円												
2. 事業効果 多目的サッカー・ラグビー場を天候に左右されない人工芝に改修したことで、グラウンドコンディション等の競技環境の向上と施設のイメージアップが図られ、プレーヤーの技術力の底上げや有料運動施設として求められる施設機能の確保と利用者の利便性、安全性が向上しました。														

# 9 款 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
消防施設整備費 (危機管理課)	59,310		53,900		5,410

## 説 明

○ 市民の生命、身体及び財産を火災から守り、安全で安心なまちづくりを推進するため、消防施設の整備を図りました。

内 容	金額
第17分団槻木地区火の見櫓解体工事	864千円
第16分団消防屯所シャッター外修理工事	427千円
第14分団基幹消防屯所舗装工事	735千円
第19分団基幹消防屯所新築工事	16,323千円
第16分団東麻生地区火の見櫓解体工事	349千円
第18分団基幹消防屯所ホース乾燥塔新築工事	999千円
第8分団基幹消防屯所外下水道切替工事	2,419千円
第13分団消防ポンプ自動車購入（更新）	19,656千円
第7分団小型動力ポンプ軽積載車購入（東田面・更新）	4,158千円
消火栓新設工事及び修理工事負担金	12,137千円
合 計	58,067千円

# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ学力向上推進事業費 (学校教育課)	68,492	3,169		58,512	6,811
説 明					
<p>○ 本市児童生徒の学力のさらなる向上を図るため、平成29年度から平成38年度までの10年間に展望した新たな視点での「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学習に主体的に取り組む意欲を養い、思考力、判断力、表現力を育み、自分の夢と希望をかなえることのできる力を身に付けるため、環境整備及び学力向上事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 学級集団育成事業            児童生徒の確かな学力の向上を図る基盤づくりとして、Q-U（児童生徒個人、学級集団の状況、個人と集団の関係性を把握するためのアンケート）を実施し、その活用を図りました。            ※Q-U（Questionnaire-Utilities）</p> <p>2. 読解力向上事業            学校図書館の充実のため学校図書館支援員5名を配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、授業における積極的な図書館の活用を通して、学力向上のための重要な基礎作りを行いました。あわせて新聞等の教材の活用により、自然環境・社会事象等への関心を高め、読解力・表現力の向上を図りました。</p> <p>3. 指導力向上事業            先進地域、先進校などの実践内容を吸収するため、先進地視察を行うとともに、研修会等の開催を通して、指導力向上を図りました。</p> <p>4. ICT活用学力定着事業            電子黒板等のICT機器を活用し、学習への興味・関心を高め、積極的な学習態度を育てるとともに、音声や映像等を効果的に取り入れた授業を行い、学力の定着を図るため、電子黒板機能付きプロジェクターを配置しました。平成30年度においては、平成32年度から導入される小学校の英語教科化への対応を強化するため、小学校5・6年生全クラスへ配置を行いました。            さらに電子黒板の有効活用を図るため、これまで導入した中学校全学年の英語と数学の指導者用デジタル教科書の整備に加え、小学校3年から6年の算数の指導者用デジタル教科書と各学校の要望に応じたデジタル教材を整備しました。</p> <p>・電子黒板等 84セット配置（小学校）</p> <p>5. チャレンジ事業（学力向上支援事業補助金）            失敗を恐れず物事にチャレンジする精神や大きな感動体験が、主体的な学習を成立させる大きな原動力となることから、各種検定への受検を通し、子ども達のチャレンジ精神を養い、成功体験を通して意欲（チャレンジ精神）を高めました。</p> <p>対 象： 小中学校 全児童生徒            受検者数： 1,973人            対象検定： 実用英語技能検定、日本漢字能力検定            補助内容： 1検定受検につき 1,000円</p> <p>6. 会津若松市学力向上推進委員会            これまでの全小中学校の代表で組織する「学校教育指導委員会」に加え、本市の児童生徒の学力向上を目指す全市的な取組を加速させるため、有識者による「会津若松市学力向上推進委員会」を設置し、学校・家庭・地域、教育委員会及び関係機関等が連携した実践的施策を含めた学力向上策について、年3回開催して検討を行いました。</p>					

# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
指導研究に要する経費（部活動指導員） (学校教育課)	640	419			221
説 明					
○ 学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動に、技術的な指導に従事する専門的知識・技術を持つ人材を部活動指導員として2名配置し、指導体制の充実を図りました。					
[配置校]					
第一中学校（ソフトボール部）【1名、配置時間222時間、配置回数123回】					
河東学園中学校（特設陸上部及び特設水泳部） 【1名、配置時間171時間、配置回数105回】					
学校維持管理費（小中学校トイレ洋式化） (教育総務課)	67,522		64,100		3,422
説 明					
○ 小中学校の既設和式トイレの洋式化工事を行い、学校環境の改善を図りました。小学校52箇所、中学校40箇所の計92箇所を洋式トイレに改修しました。					
[事業費]					
小学校 36,893 千円					
一箕小学校外トイレ洋式化工事 12,950 千円					
東山小学校外トイレ洋式化工事 13,208 千円					
謹教小学校外トイレ洋式化工事 10,735 千円					
中学校 30,629 千円					
第一中学校外トイレ洋式化工事 13,133 千円					
第三中学校外トイレ洋式化工事 17,496 千円					
[実施箇所]					
小学校 (52箇所)					
城西小学校 6箇所 謹教小学校 6箇所 日新小学校 5箇所					
一箕小学校 7箇所 神指小学校 5箇所 門田小学校 6箇所					
東山小学校 6箇所 荒館小学校 6箇所 川南小学校 5箇所					
中学校 (40箇所)					
第一中学校 6箇所 第三中学校 6箇所 第四中学校 6箇所					
第五中学校 6箇所 湊中学校 6箇所 一箕中学校 6箇所					
大戸中学校 4箇所					
[区画整備率]					
小学校の区画整備率（工事前と工事後の比較）					
64.8% ⇒ 80.7%					
中学校の区画整備率（工事前と工事後の比較）					
41.3% ⇒ 68.8%					
小中学校の区画整備率（工事前と工事後の比較）					
56.4% ⇒ 76.3%					

# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校施設耐震化事業費 (教育総務課)	182,617	66,174	98,400		18,043

## 説明

- 学校施設の耐震化を図るため、耐震基本計画の策定及び耐震補強工事の実施設計並びに耐震補強工事を行いました。耐震化工事とともに、窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工等、非構造部材の耐震化も実施し、強度の地震にも耐えられる建物となりました。

### [経費内訳]

#### 1. 小学校における耐震化事業費

- 耐震基本計画策定及び耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
神指小学校	校舎西棟耐震基本計画策定業務委託	4,212千円
一箕小学校	南棟耐震補強工事实施設計業務委託	6,048千円
合計		10,260千円

- 耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
神指小学校	東棟耐震補強工事	28,593千円
	東棟耐震補強機械設備工事	8,302千円
	東棟耐震補強電気設備工事	3,969千円
	事務費等	1,076千円
合計		41,940千円

- コンクリートブロック塀撤去等にかかる経費

学校名	事業費
行仁小学校、城西小学校、謹教小学校、門田小学校、城南小学校	24,090千円

小学校における耐震化事業費	合計	76,290千円
---------------	----	----------

#### 2. 中学校における耐震化事業費

- 耐震基本計画策定及び耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
第六中学校	校舎耐震基本計画策定業務委託	6,642千円
第五中学校	中央棟耐震補強工事实施設計業務委託	2,430千円
合計		9,072千円

- 耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
一箕中学校	南・西・北棟耐震補強工事	72,408千円
	南・西・北棟耐震補強機械設備工事	13,824千円
	南・西・北棟耐震補強電気設備工事	8,398千円
	事務費等	2,041千円
合計		96,671千円

- コンクリートブロック塀撤去等にかかる経費

学校名	事業費
第六中学校、一箕中学校	584千円

中学校における耐震化事業費	合計	106,327千円
---------------	----	-----------

# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
城北小学校校舎北東棟改築事業費 (教育総務課)	537,126	139,788	385,400		11,938

## 説明

○ 耐震補強工事が困難と評価された校舎北東棟及び南棟の機能を統合した、新たな校舎北東棟を建設しました。必要な耐震性を確保することで、児童が安全で安心な学校生活を送ることができる環境を整備しました。

### [経費内訳]

内容	事業費
城北小学校校舎北東棟改築工事	428,053千円
城北小学校北東棟機械設備改築工事	55,529千円
城北小学校北東棟電気設備改築工事	47,453千円
事務費等	6,091千円
合計	537,126千円

### 1. 施設整備の基本目標

- ① ユニバーサルデザインに配慮した、安全・安心な校舎
- ② 地球環境に配慮した、安全・安心な校舎
- ③ 地域に開かれ、地域と連携する学校

### 2. 施設概要

#### (1) 建物概要

施設	構造規模	建築面積(m <sup>2</sup> )	床面積(m <sup>2</sup> )
北東棟	鉄筋コンクリート造3階建	772.97	1,905.88

#### (2) 主な諸室

- 1階：こどもクラブ、みんなのトイレ（多目的用）  
 2階：普通教室、理科室、理科準備室、PTA活動室  
 3階：普通教室、視聴覚室、コンピュータ室



# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子どものことばの力・まなびの力育成事業費 (生涯学習総合センター)	2,491			2,168	323
説 明					
<p>○ 「ことばの力」を使って、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育み、優れた人材を育成するための読書活動事業に、ボランティアとの協働及び大熊町との連携のもと取り組みました。</p> <p>[主な事業内容と成果]</p> <p>1. 第5回会津図書館を使った調べる学習コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募作品数：81作品、参加小学校数：13校</li> <li>・ 表彰式及び作品展覧会：平成30年11月23日（金）</li> </ul> <p>本コンクールを推進するため、「調べる学習コンクール支援セット」を整備し、調べる学習支援のための「学校支援図書セット」と共に、学校に対して広報を行い、利用促進を図りました。また、公民館事業と連携して「調べる学習講座」を実施しました。</p> <p>市内の小学生を対象とし、図書館の本や情報を活用して調べた成果をまとめた作品を募集し、当コンクールにおいて19作品を表彰しました。また、応募作品の多かった小学校2校に対しては、学校賞を授与しました。入賞作品の中から全国コンクールへ推薦した2作品は、奨励賞・佳作に入賞しました。</p> <p>また、大熊町の小学校と連携して入賞作品の合同展示会を開催し、広く事業展開を図りました。回を重ねるごとに内容の充実が図られ、子どもたちの調べる力の向上とともに、本を読み、深く考え、言葉を選び、自分の考えをまとめる能力の向上が図られました。</p> <p>2. 第5回会津ビブリオバトル（知的書評合戦）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施日：平成30年9月17日（月・祝）</li> </ul> <p>市内在学の中高生を対象に、本の魅力や感じた思いを発表することで、論理的思考力・表現力・プレゼンテーション能力の向上が図られました。発表者は予戦では楽しく和やかに語り合い、決戦では一般公開のため、緊張しながらも身振り手振りなどの工夫を凝らして発表しており、本を通して交流の輪を広げ、新たな読書活動が推進されました。</p> <p>また、図書館内においてバトル本を展示し、来館者から好評を得て、貸出に繋がりました。</p> <p>3. 読み聞かせの推進</p> <p>健康福祉部と連携しながら、ボランティアとの協働により、4か月児健診会場において、「ブックスタート事業」を行い、読み聞かせとともに絵本の手渡しを実施しました。</p> <p>また、「赤ちゃんおはなし会」を開催し、読み聞かせを通して本の楽しさを味わう機会を創出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブックスタート事業における読み聞かせ 実施回数：34回 参加者数：親子数812組</li> <li>・ 赤ちゃんおはなし会 実施回数：22回 参加者数：のべ親子数208組</li> </ul> <p>4. 児童図書の充実</p> <p>子どもたちの読書活動を支援するとともに、凛としたあいづっこの育成のため、児童図書の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入冊数：児童書1,196冊</li> </ul>					

# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
會津風雅堂管理費（改修工事） （文化課）	162,523		162,100		423
説 明					
○ 會津風雅堂の機能維持を図るため、舞台音響設備、舞台照明設備、舞台機構及び受変電設備の改修工事を行い、快適に利用していただける環境を整備しました。					
[経費内訳]					
内 容		事 業 費			
舞台音響設備改修工事		64,071 千円			
舞台照明設備改修工事		44,280 千円			
舞台機構改修工事		50,392 千円			
受変電設備改修工事		3,780 千円			
合 計		162,523 千円			
2020東京オリンピック・パラリンピック 関連事業費 （スポーツ推進課）	487			423	64
説 明					
○ タイ王国のホストタウンとして、同国ボクシングチームトレーニングキャンプ及び各種交流事業等を実施し、スポーツ及び地域振興に取り組みました。					
[主な事業内容]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在東京タイ王国大使館及び日本ボクシング連盟を訪問し、本市の取組への支援を依頼し、了承を得ました。</li> <li>・ 子どもたちにスポーツの楽しさを伝えるため、オリンピック（ボクシング：清水聡選手）によるスポーツ教室を開催しました。</li> <li>・ 市国際交流フェスティバルにおいて、来場者がタイ王国の文化に親しめるよう、タイ王国の特産品や民族衣装を紹介するとともに、同国舞踊団による民族舞踊のステージを実施しました。</li> <li>・ タイ王国ボクシングチームトレーニングキャンプを実施しました。 タイチーム6名、日本チーム20名による合同練習を実施 期間中、小学校訪問や公開練習、鶴ヶ城見学等を実施</li> <li>・ タイ料理を学校給食で提供し、多くの子どもたちがタイ王国に親しむ機会を設けました。</li> <li>・ タイ料理教室を開催し、食を通してタイ王国の文化等に親しむ機会を設けました。 約30名の市民が参加</li> <li>・ 市内小学校とタイ王国の学校の子どもたちが、テレビ会議システムによりオンラインで交流しました。 学校紹介、作文や合奏の披露などを相互に実施</li> </ul>					
[主な成果]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019年度及び2020年度の事前キャンプ実施について、事務レベルで合意しました。</li> <li>・ 在東京タイ王国大使館及び日本ボクシング連盟との協力関係を強化することができました。</li> <li>・ 各種事業を通して、子どもたちをはじめ、市民の皆様がタイ王国に親しむことができました。</li> </ul>					



# 10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業費 (スポーツ推進課)	7,472			5,657	1,815

## 説明

- 会津地方最大のスポーツイベントとして、本市のシンボルである鶴ヶ城をコースに含むマラソン大会を開催し、県内外からの参加と交流を通して、本市の魅力発信を図りました。  
第30回大会は、戊辰150周年記念として開催し、過去最高の8,556名の申込がありました。約1,300名のボランティアスタッフに大会を支えていただき、大きな事故等もなく、安全に大会を運営することができました。

実施大会名：鶴ヶ城ハーフマラソン大会

参加者数：8,556人（前回大会：7,898名）

参加状況：県外1,811人（前回1,414人）

県内6,745人（前回6,484人）うち市内3,682人（前回3,710人）

### [主な事業内容]

- ・より会津に親しんでもらえるよう、ハーフマラソンコースを七日町通りや飯盛山を望む白虎通りなど、市内の名所・旧跡を通るコースに変更しました。
- ・東京マラソンと提携し、25名のランナーを推薦しました。
- ・京都マラソンと相互にランナー3名を派遣し合い、交流を深めました。
- ・ハーフの部は、日本陸上競技連盟公認大会として開催しました。
- ・大会当日に向けたランニング講習会を開催しました。  
6回 計139名（中学生以上を対象に講習会を5回、ランイベントを1回開催）
- ・参加者向けの宿泊パック・高速バスチケット付き宿泊パックを設けました。  
利用状況：市内旅館ホテル宿泊パック126名（前回240名） 完売  
高速バス宿泊パック30名（前回30名） 完売
- ・前日レセプションを開催し、会津ならではのおもてなしで参加者を歓迎しました。  
ホテルニューパレスにて開催 100名参加（前回75名）  
県外75名（75%）、県内（市外）11名（11%）、市内14名（14%）
- ・あいづ食の陣と連携した取組を実施しました。  
昨年に引き続き、給水所にて、市産ミニトマトを提供  
加盟店の中から参加店舗を募り、前日・当日に特別地酒メニュー等を企画  
（前日7店舗、当日4店舗）

### [前回からの主な変更点]

- ・ハーフ部門の参加料を5,000円（+500円）に値上げし、大会運営の安定化を図りました。
- ・参加賞を事前発送し、大会当日の混雑緩和を図りました。
- ・実業団と箱根駅伝常連校5校よりゲストランナーを招へいしました。

### [主な広報活動]

- ・県内及び近県の大手スポーツ用品店や大手スポーツジムへ要項を送付しました。
- ・テレビ、新聞、ランニング雑誌等への広告掲載を行いました。
- ・首都圏等で大会PR大使とともにPRイベントを開催しました。
- ・市内小学校の運動会に参加し、PRを実施しました。
- ・広報車を使用し、参加奨励を行いました。
- ・大会当日の交通規制情報については、テレビ、新聞、ラジオにて情報発信するとともに、チラシを全戸配布するなど周知に努めました。